

建築基準法第12条第5項に基づく報告（擁壁用）

年 月 日 第 _____ 号で確認を受けた工作物に関し下記のとおり報告いたします。 この報告書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。 年 月 日 船橋市建築主事 あて 申請者氏名	
工事監理者 住 所 事務所名 氏 名 資 格 一級 ・ 二級 建築士	TEL _____ 登録第 _____ 号 印 登録第 _____ 号
下記の建築物は建築基準法並びにこれに基づく命令及び条例の規定に適合して施工され、構造耐力上安全であることを確認しましたので報告いたします。	
1	建築確認番号 _____ 第 _____ 号 建築確認年月日 _____ 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
2	建築主住所 _____ 建築主氏名 _____
3	工事施工者 _____ 登録 _____ 年 _____ 知事・大臣 一般・特定 番号 _____ 管理者氏名 _____ TEL _____
4	工事場所 _____ 構 造 _____ 用 途 擁 壁 工事種別 _____ 着工年月日 _____ 工事の工程 _____ 工事監理の状況 _____
※ 受付欄	
提出先 構造設備係 係 _____	※ 決裁日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

- 注 1) ※印のある欄には、記入しないでください。
 2) 2部提出して下さい。

一般

確認項目	内 容	照合内容	照合を行っ た設計図書	設計図書の 内容につい て設計者に 確認した事 項	照合方法	照合結果 (不適の場合 には建築主 に対して行 った報告の 内容)
①敷地の安全性 (法 19 条)	1. がけ又は擁壁の安全					
	2. 敷地の高低差					
②敷地と道路の 関係 (法 42 条, 43 条) 県条例等	1. 前面道路の幅員					
	2. 接道長さ					
	3. 敷地内通路					
⑥確認表示板の 設置(法 89 条)	1. 確認表示版の設置及 び記載内容の確認					
⑦工事現場の危 害の防止	政令第 1 3 6 条の 2 の 7 ~ 第 1 3 6 条の 8 仮囲い、防護ネット等					

構造

確認項目	内 容	照合内容	照合を行っ た設計図書	設計図書の 内容につい て設計者に 確認した事 項	照合方法	照合結果 (不適の場合 には建築主 に対して行 った報告の 内容)
①全体	全体 1. 柱、はり、壁、 スラブ の位置					
②共通	共通 1. 鉄筋の材質 2. かぶり厚さ 3. コンクリートの 調合及び圧縮強 度 4. 仰角度の確認 5. 据え付け面の 確認					
③ 基礎 ・ 地盤	支持 地盤 1. 根伐り底の確 認、地耐力等					

	基礎形状	1. 基礎の種類、くいの工法、長さ、径、位置、杭頭補強、偏心等					
⑥基礎スラブ	スラブ筋	1. スラブ厚、鉄筋の径と間隔					
		2. 主筋配置（短辺・長辺）、ベンド配筋、支持条件					
		3. 上端筋と下端筋の位置					
	定着・重ね継手	1. 定着の長さ与方法（はり定着、隣接スラブ定着、段差スラブ定着）					
		2. 片持ちスラブの定着					
		3. 継手の位置と長さ					
補強筋等	1. 基礎スラブの出入隅部の補強						
⑦壁	壁筋	1. 壁厚寸法、鉄筋の径、間隔、					
	定着・重ね継手	1. 定着確認（基礎スラブ）					
		2. 重ね継手の位置と長さ					
	補強筋等	1. 隅角部の補強筋					
⑧伸縮継ぎ目	伸縮継ぎ目	1. 位置					
		2. 間隔					
⑨その他	止水板	止水板の位置					
	水抜き穴	水抜き穴の位置・間隔、材質					

裏 込 め	材質、幅					
設 備 配 管 等	1. 設備配線管の配 置					
ガ ス 圧 接 継 手	1. 欠陥の有無					
特 殊 鉄 筋 継 手	1. 評定、認定工法 の確認					